

平成23年度 福岡県学力・学習状況調査(小6)の結果分析について

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。さて、本年度9月27日に実施いたしました福岡県学力・学習状況調査の分析結果の整理ができましたのでお知らせいたします。なお、本校では今回の分析結果を受け、学力向上に向けた確実な取組を推進していくとともに、子ども達自身にも具体的な目標を明確にもたせる取組を進めて参ります。

■ 調査結果の概要

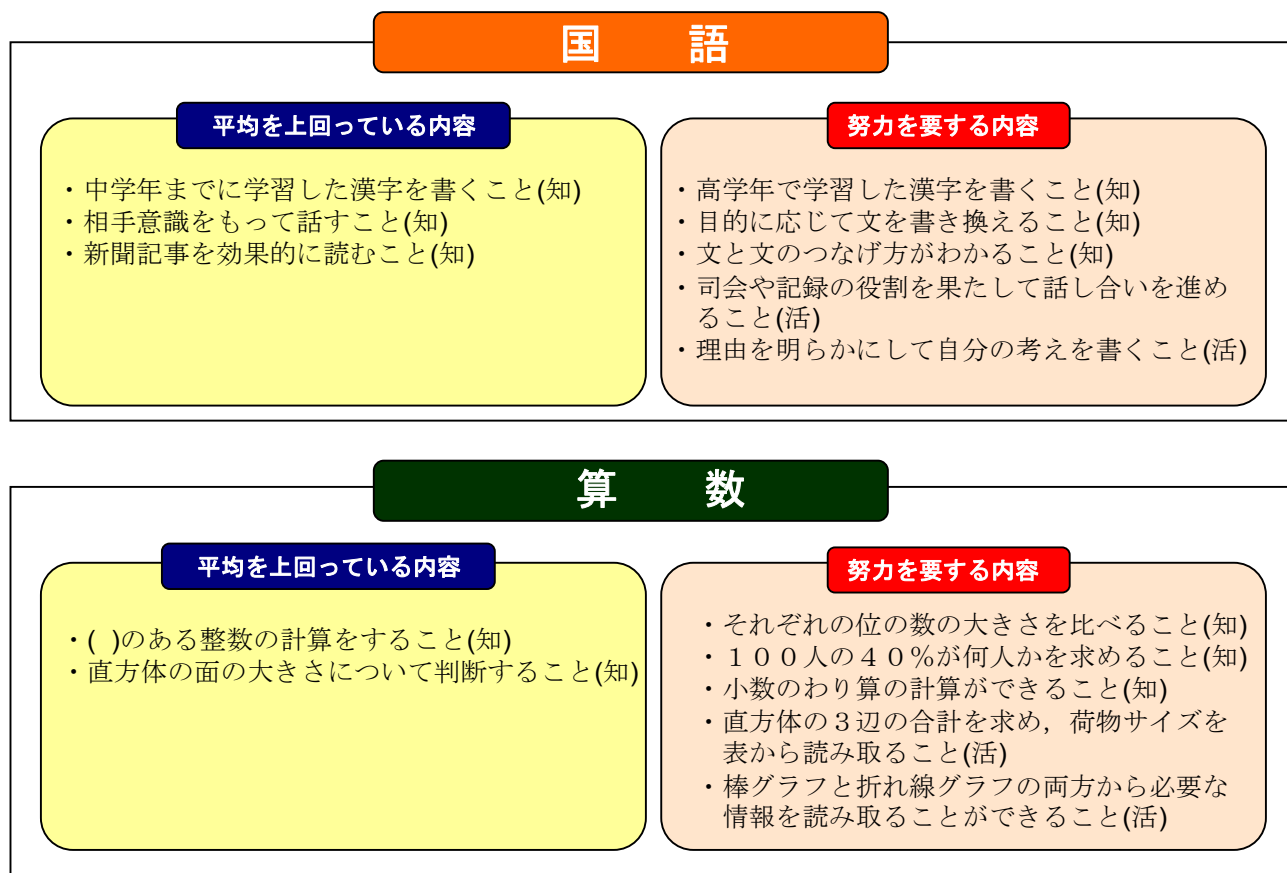
本年度の学力・学習状況調査の本校及び福岡市、福岡県の平均正答率は、以下の表の通りです。なお、この調査はあくまでも9月時点の状況調査であり、子どもの学力全てを示すものではないことや9月以降様々な学力向上の取組を通して子どもが力をつけてきていることも、あわせてご理解頂きますようお願いいたします。

平成23年度調査結果 (平均正答率)

	国語A	国語B	算数A	算数B
福岡県	78.1	41.8	81.4	44.9
福岡市	78.7	43.8	81.4	47
吉塚小	市と同程度	努力を要する	努力を要する	努力を要する

※平均正答率:児童生徒の平均正答数を設問数で割った値の百分率(概数)

■ 調査結果の詳細



※ (知)...主に知識に関する内容 (活)...主に活用に関する内容

■ 調査結果の考察

【国語】

- 本校において過去3年間にわたって継続して取り組みを進めてきている「話す」内容に関する項目は、昨年度まで「努力を要する」項目であったが、本年度は「平均を上回る」項目となった。
- 論理的思考力を働かせて文章を読んだり、書いたりする力を高める必要がある。

【算数】

- 複数の学年で学習した内容を活用して答えを導き出す内容に課題がある。
→各学年の学習内容の確実な定着をはかる必要がある。
→発展的な問題にもチャレンジさせていく必要がある。

■ 課題に向けた取組

【子どもが課題を意識するための取組】

学力を向上させていくことのポイントの1つに、子どもたち一人一人が自分自身の課題が何かということ意識することがあげられます。そこで本校では、今回の結果を配布するにあたって、以下のような振り返りのプリントを作成し、子どもたち一人一人が自分の課題を把握し、冬休みをスタートに現在取組を進めているところです。

「国語」振り返りカード

「算数」振り返りカード

子どもが課題を整理した振り返りカード(H23.12.22配付)

【3学期以降の取組】

本校では、1学期・2学期の学期末の学力実態分析の結果と今回の学力・学習状況調査の結果をもとに、学力向上に向け、以下のような取組を行っていくことを確認しました。

□ 全校での取組

○ 「読む力」を高める取組のさらなる推進・・・論理的思考力の育成に向けて

- ・朝の帯タイムを活用した音読、読書の取組の継続
- ・漢字の読みの確実な習得の取組の継続→毎月の強化週間実施
(当該学年までに学習した漢字を確実に読める力の育成)

○ 確実な定着に向けた指導方法の工夫改善の取組の推進

- ・過去5年間の学力・学習状況調査と本校独自の実態調査の経年分析をもとにした課題単元の整理
- ・課題単元を中心とした、指導方法工夫改善のさらなる取組の推進

□ 各学級での取組

- 期末テスト等の結果から明らかになった課題に向けた具体的な取組を各学年・学級で決定し、取り組みを進めているところです。詳細につきましては、懇談会等でお知らせいたします。